

小野だより

令和3年度後期学校評価号

京都市立小野小学校
校長 審居 繁治



学校教育目標

「互いを認め合い、すすんで学び続ける児童の育成」
☎075(571)8282 Fax 075(571)8199

令和3年度学校評価【後期】

2月にご協力いただきました後期学校評価アンケート結果についてお知らせします。

結果は「よく出来ている」「大体できている」と回答された数の合計の割合（%）です。

No	児童への質問	【前期】	【後期】	増減
1	学校に行くのが楽しい。	92.6	90.1	-2.5
2	学校で習ったことは、よくわかる。	90.1	90.1	0
3	先生や友だちの話を、最後までしっかりと聞いている。	92.3	90.9	-1.4
4	授業中、よく発表している。	67.8	59.1	-8.7
5	自分の思いや考えを友達に伝えることができる。	84.9	77.6	-7.3
6	タブレットを上手に使うことができる。	91.7	90.6	-1.1
7	元気のよいあいさつをしている。	78.0	71.8	-6.2
8	きまりや約束をきちんと守っている。	90.9	89.1	-1.8
9	当番や係の仕事を最後までやりきっている。	96.0	94.1	-1.9
10	人の嫌がるようなことはせず、友達と仲良くしている。	92.1	92.3	+0.2
11	宿題や家庭学習をきちんとしている。	90.6	89.6	-1
12	家で本を読んでいる。	57.7	54.8	-2.9
13	寝る時刻や起きる時刻を決めて守っている。	74.9	63.7	-11.2
14	テレビ見たり、ゲームや携帯をしたりする時間を決めて守っている。	71.6	67.0	-4.6
15	朝ごはんを毎日食べている。	93.6	92.4	-1.2
16	進んでお手伝いをしている。	71.5	67.2	-4.3
17	学校からのプリントは、家の人に渡している。	89.1	88.1	-1

No	保護者への質問	【前期】	【後期】	増減
1	子どもは、楽しく学校に通っている。	95.2	95.1	-0.1
2	子どもは、学校で習ったことをきちんと理解している。	85.3	84.4	-0.9
3	子どもは、人の話を最後まで聞くことができる。	75.9	78.8	+2.9
4	子どもは、自らすすんで学習しようとしている。	62.7	54.8	-7.9
5	子どもは、自分の思いや考えをしっかり話す子に育ってきている。	74.5	77.5	+3
6	子どもは、よく考え、正しく判断する子に育てきている。	81.1	84.4	+3.3
7	子どもに、進んであいさつができるように働きかけている。	82.9	81.4	-1.5
8	子どもは、家のきまりや社会のルールを守っている。	85.0	86.8	+1.8
9	子どもは、自分のやるべきことを最後までやり切る子に育てきている。	75.3	77.5	+2.2
10	子どもは、人の嫌がるようなことはせず、友達と仲良くしている。	92.6	95.1	+2.5
11	子どもは、宿題や家庭学習をきちんとしている。	87.4	85.7	-1.7
12	子どもは、家で読書をしている。	33.8	31.8	-2
13	子どもは、寝る時刻や起きる時刻に気をつけて生活している。	68.3	55.9	-12.4
14	子どもは、テレビを見たり、ゲームや携帯をしたりする時間を決めて守っている。	49.8	46.0	-3.8
15	子どもに毎日朝ごはんを食べさせている。	94.5	94.6	+0.1
16	子どもは、進んでお手伝いをしている。	61.1	59.5	-1.6
17	学校だよりや学級だより・ホームページを見て、学校の様子を知っている。	80.3	78.8	-1.5

No	教職員への質問	【前期】	【後期】	増減
1	児童は、楽しく学校に通っている。	95.8	100.0	+4.2
2	児童は、学習したことをきちんと理解している。	79.2	85.7	+6.5
3	児童は、人の話を最後まで聞くことができている。	45.9	66.7	+20.8
4	児童は、授業中よく発表している。	75.0	85.7	+10.7
5	児童は、自分の思いや考えを友達に伝えることができている。	66.7	76.2	+9.5
6	児童は、タブレット端末を効果的に活用することができている。	83.3	95.2	+11.9
7	児童は、元気のよいあいさつができている。	79.1	52.4	-26.7
8	児童は、学校のきまりや約束をきちんと守っている。	79.1	81.0	+1.9
9	児童は、当番や係の仕事を最後までやり切っている。	91.7	95.2	+3.5
10	児童は、人の嫌がるようなことはせず、友達と仲良くしている。	95.8	100.0	+4.2
11	児童は、宿題や家庭学習をきちんとしている。	95.8	95.2	-0.6
12	児童は、寝る時刻や起きる時刻に気を付けて生活している。	75.0	71.4	-3.6
13	朝読書や図書室を活用し、本好きの子どもを育てている。	91.6	71.4	-20.2
14	学校だよりや学級だより・ホームページで、学校の様子を伝えている。	87.5	90.5	+3

アンケートの結果から

◎学習面の成果

「習ったことを理解している」

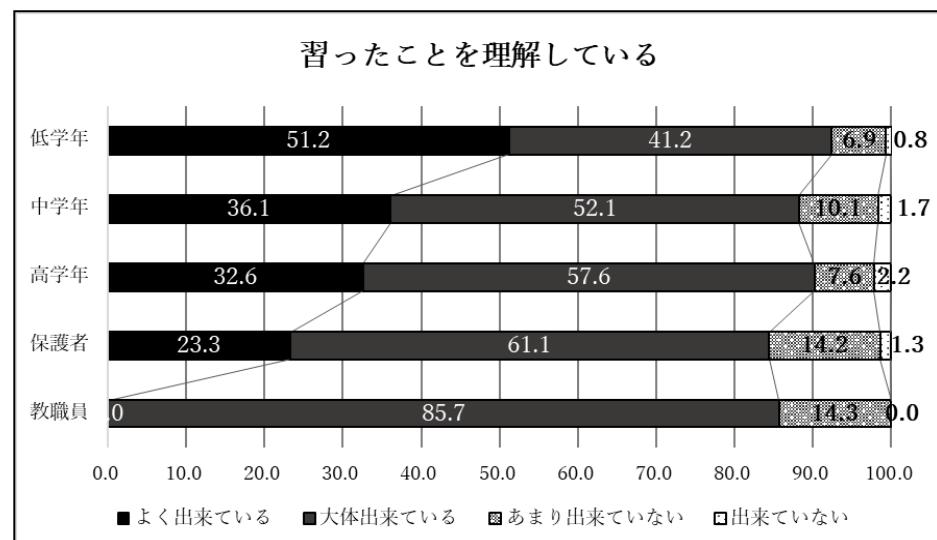
児童 90.1% ($\pm 0\%$)

保護者 84.4% (-0.9%)

教職員 85.7% (+6.5%)

児童アンケートでは、前期・後期ともに 90.1% と高い割合になりました。

前期学校評価号にも書きましたが、今年度は中学年と高学年の理科と音楽の授業を専科の教員が担当していることに加え、必要に応じて個別指導教室での個別指導も行っていることで、よりきめ細かい指導ができると考えられます。また、「GIGAスクール構想」により一人一台の GIGA 端末を活用した授業が行われており、一人一人が自分の考えを持ち、表現しようとする姿が見られます。授業で学習した内容を深めるために、自分で調べ、分かったことや考えたことをプレゼンテーションにまとめて互いに伝え合うことで、さらに考えを深めています。これからも、子どもたちの確かな学力の育成を目指して取り組んでいきたいと思います。



▲学習面の課題

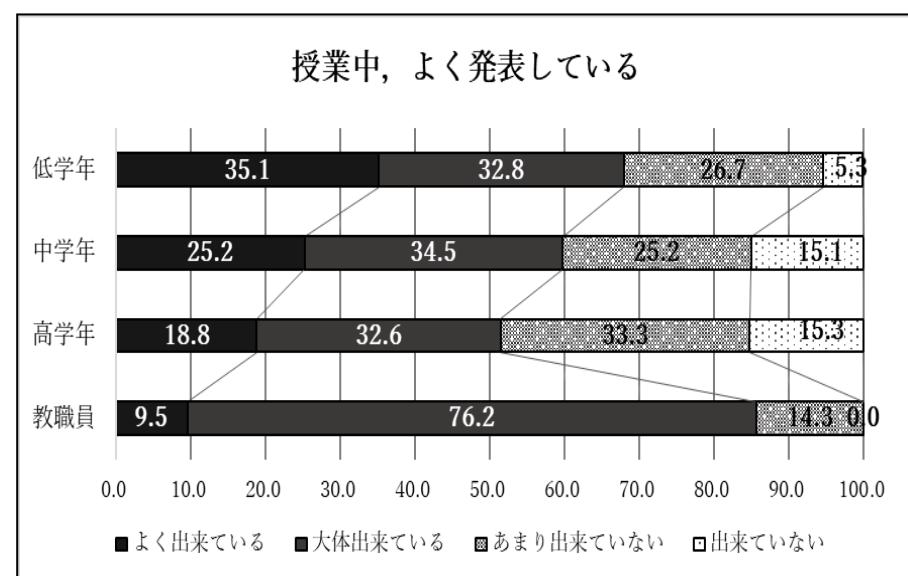
「授業中、よく発表している」

児童 59.1% (-8.7%) 教職員 85.7% (+10.7%)

「できている」と回答した児童の割合が前期と比べて全体で 8.7% 減少しました。

(低学年 8.3% 減、中学年 11% 減、高学年 6.4% 減)

グラフからもわかるように、学年が上がるに従い、発表している児童の割合が少なくなっています。学年が上がると友達の目を気にしたり間違えることを恐れたりして、手を挙げることへの抵抗感が強くなり



ます。また、今年度の後半は新型コロナウィルス感染症の拡大のため、全体発表の前に行うグループやペアなど少人数での意見交流の機会が減ったことから、自信をもって発表することができなかつた児童がいたことも考えられます。発表はできなくても、GIGA 端末を活用すれば一人ひとりの考えを交流することができます。これからも「個別の学び」と「協働的な学び」の両立を目指して授業を行っていきたいと思います。

◎生活面の成果

「人の嫌がるようなことはせず、友達と仲良くしている」

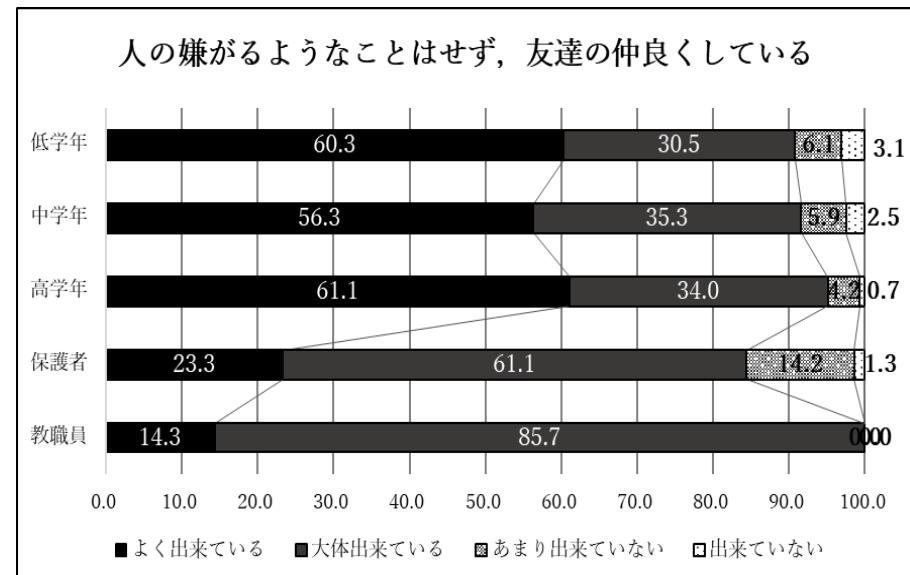
児童 92.3% (+0.2%)

保護者 95.1% (+2.5%)

教職員 100.0% (+4.2%)

児童、保護者、教職員のアンケート結果から、子どもたちがおおむね友達と仲良くできていることがわかります。

子どもたちの言葉遣いが気になるときもありますが、子どもたちなりにどこまでなら言ってもよくて、どこからは人を傷つけるのかを考えているようです。また、子どもたちの様子を見ていると、困っている人がいたら声をかけたり手助けをしたりする姿もよく見かけます。もしもお子さんが不安に感じることがありましたら学校にご相談ください。子ども達が安心して通える小学校を目指したいと思います。



▲生活面の課題

「寝る時刻や起きる時刻に気を付けて生活している」

児童 63.7% (-11.2%)

低学年 68.0%

中学年 65.5%

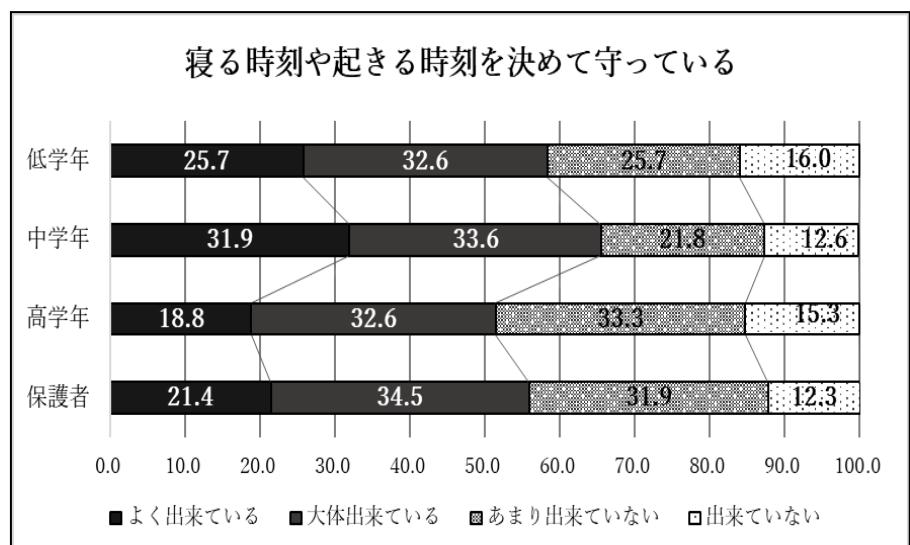
高学年 58.3%

保護者 55.9% (-12.4%)

低学年 54.0%

中学年 68.4%

高学年 48.6%



小野小学校では心身ともに健康な生活を送るために、低学年は9時、中学年は9時30分、高学年は10時までに寝ることを目標にし、年に3回の「生活見直し週間」に取り組んでいます。今年度はゴールデンウイーク明けに「早寝ができた」割合は全校で64%でしたが、夏休み明けは57%，冬休み明けは48%まで下がりました。

日々学校生活を頑張っている子どもたちにとって、家に帰ってホッと一息ついたり、家族団らんを楽しんだりする時間はとても大切だと思います。しかし、無計画にだらだらとゲームをしたり YouTube を見たりしていて、気が付いたら寝るのが遅くなってしまっている子どもも多いのではないでしょうか。

今回のアンケート結果の「テレビを見たり、ゲームや携帯をしたりする時間を決めて守っている」の割合が46%、「家で読書をしている」の割合が31.8%と低いことも気になります。家庭学習と学力は大きく関係しています。毎日の家庭学習の目安は低学年が15~30分、中学年が45~60分、高学年が75~90分です（「自学自習のすすめ」京都市教育委員会より）。学校で学んだことを定着させるためにも、規則正しい生活を心がけ「計画を立てて家庭学習に取り組む習慣」をつけられるよう話し合ってください。